





学校だより 7月号 (第463号)

令和5年 7月 3日 栃木市立皆川中学校

校長:石田 正彦(文責)

本格的な夏: 6月初旬には衣替え、 7月を迎えました









関東も6/8(木)に梅雨入り しました。本校も6月に移行期間 を経て、衣替えを始めましたが、 6月初旬は、寒暖の差がある日が

輝がいる池には、白い蓮の花が咲いていました。葉の陰に鯉たちが隠れることも多くなりました。花壇には紫陽花、向日葵、コスモスがそれぞれの季節の成長に合わせ、咲き誇っているものもあります。これから、本格的な夏を迎えます。感染症対策のみならず、熱中症対策も十分にとりながら、学校教育を進めていきたいと思います。

アシストネット:読み聞かせボランティアの様子です







・今年度も、5/25(火)朝読書の時間を 利用して、読み聞かせボランティアでご協力 いただきました。1年生は「星の王子さま」 を****様から、2年生は「郷土の偉人~ ビール麦の父~田村律之助物語」を***

お願いいたします。

学旅行





















・3年生は、5/28(日) ~ 30 (火)の期間、2泊3日で、奈良・京都方面に修学旅行に行ってき ました。 2年生は、5/29(月)~31(水)の期間で、職場体験学習を実施しました。 1年生は、5/30(火)、埼玉方面に校外学習に行ってきました。地域の方々のご協力、ご家庭の感染予防対策に対するご協力等がなければ、学年生徒がほぼ、全員に近い参加が実現できなかったと思います。学校 とは違うそれぞれの場所で、生徒たちは素敵な笑顔を見せてくれました。支えていただきました皆様に 感謝申し上げます。











・6/1 (木)、6校時を利用して、1・2年生が「ふるさと学習(城山登山)」を実施しました。今年は、***様他3名の皆様にご協力いただきました。歴史のある自然を実際に見ることを通して、皆川地区をさらに深く理解することで、「郷土に対しての誇りや愛着をもつ」、大きなきっかけになりました。堅堀、くるか土塁、井戸、櫓の各場所では、得書にの名の人間の計して記されていませた。 なりました。また、6/3(土)には、PTA役員18名の会員の方々のご協力及び教職員が10名参加して、プール掃除を行いました。大変な作業でしたが、皆様のお力添えでとてもきれいになりました。お陰様で、プール開きを6/12(月)お昼休みに実施できました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

部活動激励会が行われました







・6/7(水)の放課後、体育館に全校生 徒が集合して、「部活動激励会」を実施し ました。今回は、今までの各部活動の様子や練習風景、弱点の克服への取組、総体地 区予選・県予選に関する生徒の目標等をパ ワーポイント等を利用して、部長を中心に

活動してきた思いを全校生徒の前で発表してもらいました。応援団からは、演舞とエールもありました 文化部運動部の互いの活動に対する理解も深まり、3年生が最後の大会に臨みます。各部の検討を期待 しています。

3 校交流会 (班別活動) の様子

・6/8(木)10:00~11:30、皆川中の会場に皆川城





流しながら、3校の児童・生徒たちからも明るい笑顔や楽しそうに活動できたことに感謝申し上げます。 昨年度までは、新型コロナウイルス感染症対策のため、リモートによる活動でしたが、互いが触れあう 活動により、改めて素晴らしい時間を共有できたと感じました。お世話になりました。

-ル開きの様子です





・6/12(月)の昼休みの時間を利用して、休伴安良云とへに、 ール開きを実施しました。前の週に、保護者の方々の協力を得て、 プールを清掃していただいたことへの感謝の気持ちを持つこと。今 徒の安全を祈願することや施設の安全管理を約束して、事故防止に

対する意識を確認することができました。本年度も仮更衣室である体育館ステージ上幕内の見守りアシストネットボランティアで地域の方々にご協力いただきます。ご協力に感謝申し上げます。

総体下都賀地区大会で頑張り













マス部は、団体戦 1 回戦:皆川 2-1 寺尾、2 回戦:皆川 1-2 南河内小中、個人戦は****** と***** 2 回戦進出、***** 3 回戦進出でした。それぞれの部活動で、3 年生が最後まで戦い抜くことができました。保護者の皆様による送迎や応援、ご支援をいただきながら、全日程が終了しましたことをご報告申し上げます。

【まーちゃん'S トーク】…その14 -

○「スポーツ大会での出来事」・・・本校生徒も6月に総体地区予選に参加しました。スポーツの世界では、大会側の ₹判断や審判の判定により、勝敗や出場に大きく影響することが時々あります。さて、今回は全仏オープンテニス:女 綦子ダブルスに出場した選手が、試合中に相手コート側にいたボールパーソンにボールを返球しようとしたボールがノ - バウンドで直撃してしまい、泣き出してしまった。その行為を大会側は、最終的に「危険行為」と見なし、「選手 ₹を失格」にしたということが起きてしまったことです。その選手は直ぐにボールを当ててしまった子に駆け寄って謝 **∛**罪したことや相手ペアが抗議後、失格になったペアを笑っていた等、様々な物議がありました。今回の件は直接、関 係する本人たちにしか分からないこともあると思います。全世界に放映されるような大会でも、選手が運営側スタッ フにボールを優しく返球するとか、床が濡れているときモップで拭いてくれている人のためにスペースを空ける等、 選手もスタッフ等も互いがマナーを守り、優しさを持って触れあうような温かい大会であってほしいと思います。選 まとスタッフが「アイコンタクト(互いの視線で確認)」をきちんと取っていれば、今回のような出来事は起きなか ったのかもしれません。総体地区大会で、本校生徒たちもたくさんのことを学んできたと思います。保護者の皆様に おかれましては送迎・応援・ご支援など大変お世話になりました。ご協力に感謝申し上げます。